

学校生活の状況について

標記の件について、下記のとおり報告します。

1 城陽市立中学校におけるヤングケアラー支援について P 2

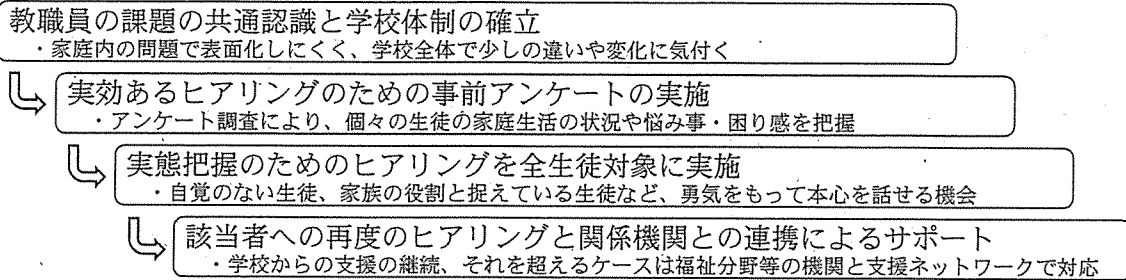
〈参考資料〉 8月～10月の生徒指導上の事象について P 3～5

城陽市立中学校におけるヤングケアラー支援について

1 目的

大人が担うような家族の世話等を日常的に行い、学業に支障が生じたり、心身に不調をきたしている生徒に対して、学校が「子どもが子どもらしく、安心して暮らせる」ためのセーフティネットとしての役割を果たすために実施するものである。

2 ヤングケアラー支援の流れ



3 把握の経過

(1) 事前アンケートの集計結果 (全中学生 1,768 人 令和5年6月実施) 答えたくない 9.0%

・家族のお世話の有無	している	していない	答えたくない 9.0%
	22.5%	68.5%	

・お世話の対象 (家族の世話している者のうち)	兄弟や姉妹	親	祖父母	それ以外
	58.7%	8.3%	7.3%	25.7%

・お世話の頻度	週0日	週1~4日	答えたくない 3.5%
	76.5%	13.1%	※ 週5日以上 6.9%

・お手伝いやお世話をしていること (複数回答)	特に何も思わない	51.0%
	家族だから当たり前	22.8%

(参考) 他の調査 (厚労省: 5.7%、大阪市: 9.1%) に相当する本市のヤングケアラーは (※) 122人 (6.9%)

(2) ヒアリングの状況

全生徒に事前アンケートを参考にヒアリングを実施し、世話や介助の対象及び費やす時間等を総合的に鑑みた結果、ヤングケアラーとした生徒は、52人 (2.9%) である。

4 現在の対応

(1) 該当する生徒 (上記3(2)) に対して、再度、ヒアリングを行い、状況把握とともに、悩み事等のケア、学校生活における配慮などの支援を行っている。また、定期的な教育相談を継続的に実施することとしている。

(2) 学校での対応 (上記4(1)) で、生徒の心身への負担が大きく、学校の支援の範疇を超えている数名に対しては、福祉部門等を含むケース会議を持ち、保護者への助言、福祉制度の活用等の支援の在り方を協議し、関係機関との連携によるサポートを行っている。

5 留意事項

生徒自身がヤングケアラーを認識し、自分一人が頑張らなくてもよいことを知り、困難な状況や悩み事など、本心を相談できる学校とする。

参考資料

8月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数 (令和5年8月1日～8月31日)

問題行動	件数																		19	20													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18															
暴力	対生徒			対教師		器物損壊		恐れ		万引き		盗		金銭の持ち出し		火遊び		喫煙		飲酒		薬物乱用		悪質行為・不健全		無断外泊・家出		わいせつな行為		不純異性交遊		その他	
校種	人数																		登校		その他被害等												
小学校	件数																																
男																																	
女																																	
中学校	件数																		3		3												
男																			3		3												
女																																	

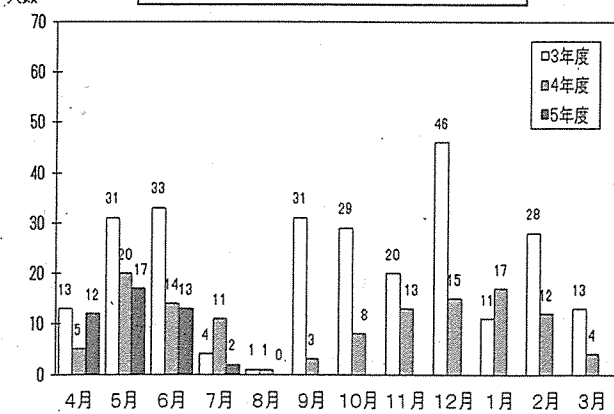
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男									1	2	3
女											
計									1	2	3

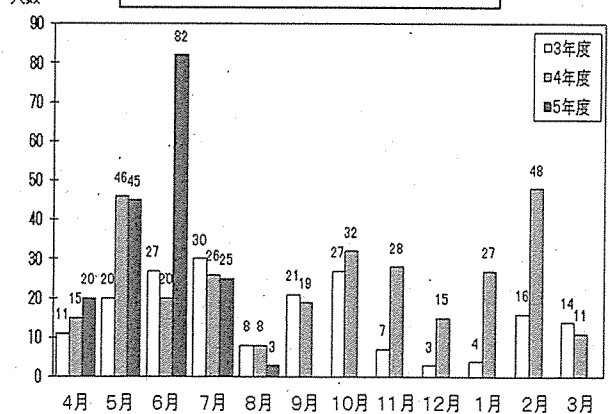
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男											
女											
計											

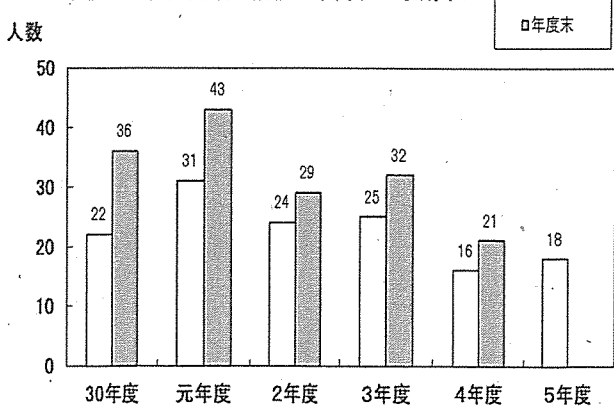
小学校における問題行動指導延べ人数



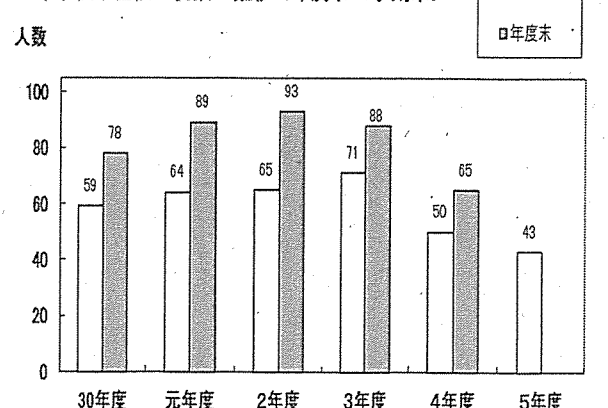
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校不登校児童数の推移<年度末・1学期末>



中学校不登校生徒数の推移<年度末・1学期末>



※はぐくみ第447号より抜粋

参考資料

9月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数 (令和5年9月1日～9月30日)

問題行動 件数 校種 人数	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18																		19 不登校	20 その他被害等
	暴力		器 物 損 壊	恐 か つ き	窃 盗 万 引	盗 金 ・ 物 品	盗 金 の 持 ち 出 し	火 災 遊 び	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 ・ 不 健 全	無 断 外 泊 ・ 家 出	わ い せ つ な 行 為	不 純 異 性 交 遊	そ の 他				
	生 徒 間	対 教 師																		
小 学 校			1				1	1										13	16	20
男			1				1	1										16	19	11
女																		1	1	9
中 学 校	1		3												1			30	35	52
男	1		3												1			35	40	24
女																		7	7	28

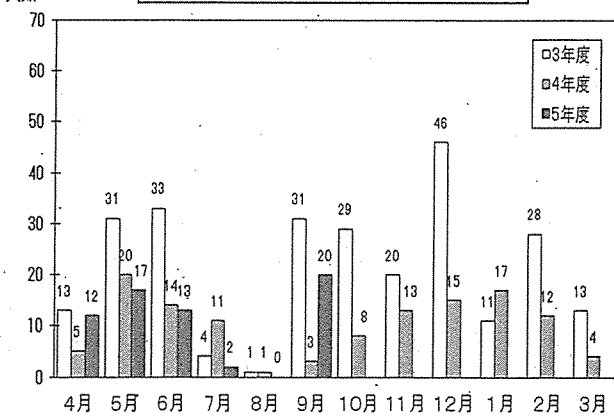
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1	3	6		7	2	19	16	9	15	40
女			1				1	4		3	7
計	1	3	7		7	2	20	20	9	18	47

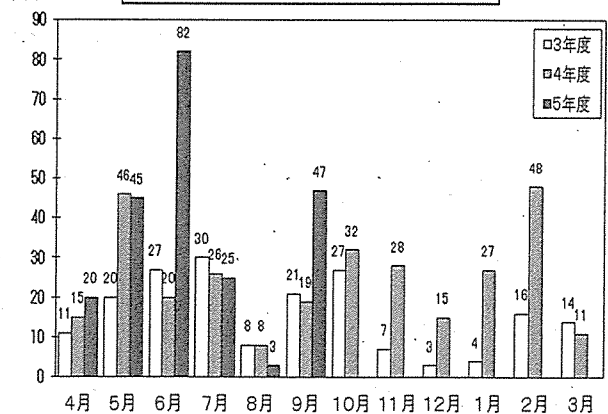
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1	2	1	2	5	11	4	10	10	24
女				4	2	3	9	4	11	13	28
計		1	2	5	4	8	20	8	21	23	52

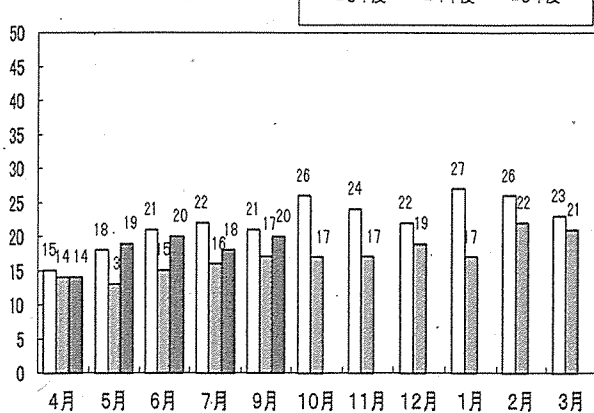
小学校における問題行動指導延べ人数



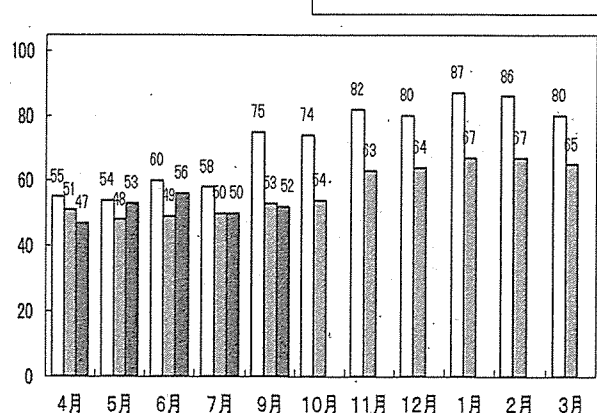
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



※はぐくみ第448号より抜粋

参考資料

10月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和5年10月1日～10月31日）

問題行動 件数 校種 人数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	暴力 生徒 対教師 対人 間		器物 損壊		恐 か	万 引	窃 盗 金銭・物 品	盗 転 バイク・自 転車	金 銭の 持ち出し	火 遊 び	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 行 為 ・不 健全	無 断 外 泊 ・家 出	わ い せ つ な 行 為	不 純 異 性 交 遊	そ の 他			計
小学 校																		8	8	30	
男																		7	7	18	
女																		2	2	12	
中学 校	2			2						1						1	19	25	63		
男	2			2						1						1	21	27	31		
女																	2	2	32		

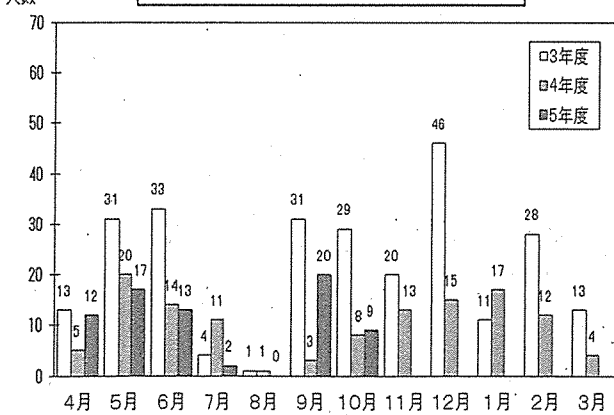
問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男	1	2	3		1		7	6	11	10	27
女	1		1				2	2			2
計	2	2	4		1		9	8	11	10	29

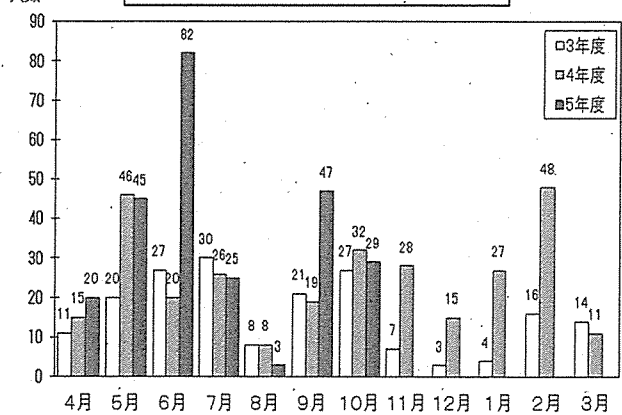
不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1	5	1	6	5	18	7	15	9	31
女		1		5	3	3	12	7	10	15	32
計		2	5	6	9	8	30	14	25	24	63

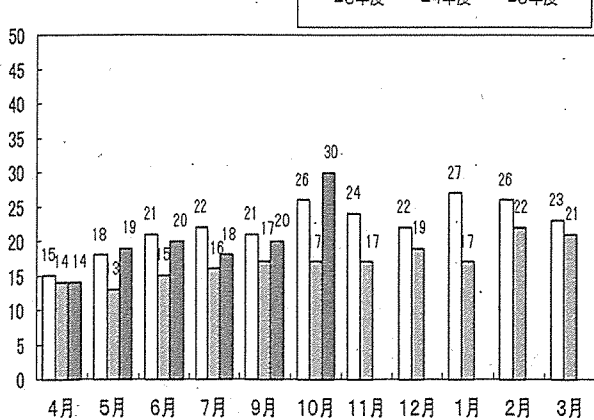
小学校における問題行動指導延べ人数



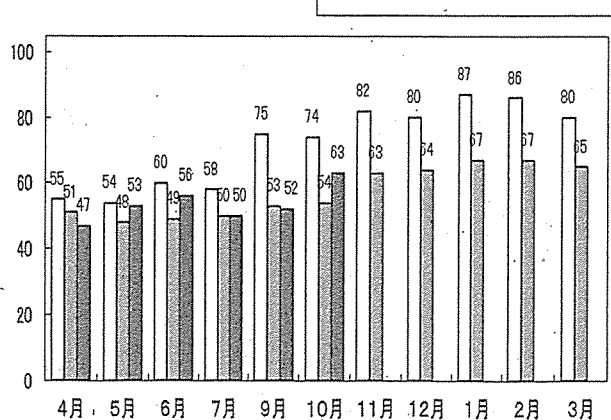
中学校における問題行動指導延べ人数



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



※はぐくみ第449号より抜粋